



熊本桜町バスターミナルより

- 【車利用】約15分
- 【熊本都市バス利用】15のりば 約20分
 - ◎子飼渡瀬線(こかいわたるせせん) バス停「学園大前」下車すぐ
 - ◎大江城西線(おおえじょうせいせん) バス停「学園大前」下車すぐ
 - ◎渡鹿長嶺線(とろくながみねせん) バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 - ◎東西線(とうざいせん) バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
- 【産交バス利用】15のりば 約20分
 - ◎熊本整形外科・託麻原本通經由 バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 - ◎子飼橋・託麻原本通經由 バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

九州新幹線・JR鹿児島本線 熊本駅より

- 【車利用】約15分
- 【熊本都市バス利用】6のりば白川口(東口) 約20分
 - ◎熊学ライナー熊本駅-熊学ノンストップ
バス停「学園大(キャンパス内)」下車
 - ◎第一環状線(大学病院回り) バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 - ◎中央環状線(大学病院回り) バス停「学園大前」下車すぐ

JR豊肥本線 水前寺駅より

- 【同駅北口より徒歩】約10分
- 【同駅北口より熊本都市バス利用】約3分
 - ◎大江城西線 バス停「学園大前」下車すぐ

九州自動車道

- 【車利用／熊本ICより】約15分
- 【車利用／益城熊本空港ICより】約20分

熊本市電

- ◎電停「味噌天神前」下車 徒歩約15分

熊本空港より

- 【車利用】約30分
- 【空港バス利用】約30分
 - ◎バス停「味噌天神」下車 徒歩約15分

熊本駅直通のシャトルバス「熊学ライナー」

JR熊本駅～本学間をノンストップで結ぶ
シャトルバスを運行しています。
(運賃片道100円、土日祝は運休)
※大学発は水道町バス停(降車のみ)を経由します。



2024年5月現在の情報です。



大学院事務室

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1
TEL 096-371-8036
FAX 096-364-5170
<https://www.kumagaku.ac.jp/daigakuin/>
E-mail: daigakuin@kumagaku.ac.jp

【学校法人 熊本学園】
熊本学園大学・大学院
熊本学園大学付属高等学校
熊本学園大学付属中学校
熊本学園大学付属敬愛幼稚園

熊本学園大学
大学院
オリジナルサイト



大学基準協会
2022年度に財団法人大学基準協会
による大学評価(認証評価)を申請し、
「大学基準に適合している」との認定
を受けました。

熊本学園大学 大学院 大学院案内 2025





大学院は進化し続ける

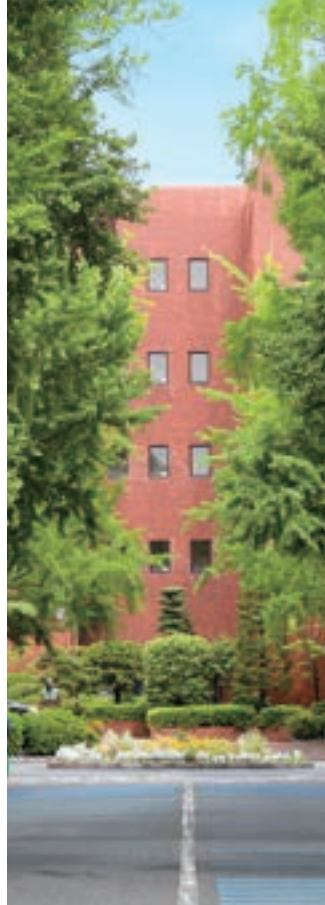
熊本学園大学大学院は、地域における知の拠点として、商学、経済学、国際文化、社会福祉学の分野について大学院を設置するとともに、専門職大学院として会計専門職研究科を設置し、各分野で高度な研究と人材育成によって地域社会に貢献して参りました。今ではすべての研究科に修士課程と博士後期課程を擁する「文系総合大学院」として、その存在感を確かなものとしています。

令和6年4月より、これまで商学研究科、経済学研究科として蓄積してきた伝統を発展的に継承させるとともに、データサイエンス系科目を充実させた新しい研究科「商学・経済学研究科」がスタートしました。

人工知能（AI）が社会の隅々にまで浸透しつつある現代社会は、さらに高度化・専門化が進む一方、人口減少、少子高齢化、環境問題、格差と分断、貧困や食料危機など、多くの解決困難な課題を抱えています。進化し続ける熊本学園大学の大学院で学び、時代のニーズを見極め、変化の激しい時代に対応できる力を身につけてみませんか。

CONTENTS

- 03 熊本学園大学 大学院の特徴
- 05 商学・経済学研究科
- 07 国際文化研究科
- 09 社会福祉学研究科
- 11 特集：在学生に聞いてみよう
- 12 履修ガイド・学位授与までのプロセス
- 13 支援制度／奨学制度
- 14 納入金
- 15 施設概要
- 16 授与する学位／免許／学生数・修了者数／
キャンパスカレンダー／授業時間
- 17 入試概要



What is “大学院”とは？ Graduate School?

大学院って何をするところ？

大学院は、大学で学んだ知識をもとに、さらに専門的な研究を行う教育機関です。大学院は、2年間の「修士課程」と、修士課程を修了した方が進学する3年間の「博士課程」に分かれます。前者を博士課程（前期）、後者を博士課程（後期）と呼ぶこともあります。高度な専門職を養成する「専門職大学院」という大学院もあります。法曹を養成する法科大学院が有名です。本学は会計に関する専門職を養成する専門職大学院、会計専門職研究科を設置しています。



どんな人が進学するの？

大学院に進学する人は、その学問が好きで、探求心や好奇心が旺盛な方が多いといえるでしょう。学問研究では、既成概念に疑問を感じたり、本を読んで内容のおかしなところに気づいたり、考えることが好きな方が向いているといえるので、単に学業成績が優秀なだけでなく、自ら考え、主体的に行動し、責任感を持って社会変革を実現していく力を持った方が適している、ということができると思います。また、大学を卒業した後すぐに進学するケースだけではなく、大学院は一度社会に出たあとで進学するケースも非常に多く、働きながら大学院に通う方も大勢いらっしゃいます。自らを成長させたい、常に学び続けたい、と考えている方にとっても最適な選択肢のひとつといえるでしょう。



大学院で学ぶメリットは？

学生時代にもっと勉強しておけば良かった、と後悔する方は少なくありません。大学で学ぶ学問が、実際の社会において、必要かつ有用なものであることに気づくのは、社会人として働くようになってからで、学生時代には、なかなかその重要性に気づかないものです。社会人になって学問の重要性に気づいた方のなかには、あらためて学問を体系的に学び直したい、さらなる専門知識を得たい、と考える方もいると思います。そのような方にとって、大学院に進学して学ぶことは大きなメリットがあるといえるでしょう。日本は大学院進学率、とくに人文科学や社会科学の分野における進学率が他の先進国に比べて低いという指摘があります。諸外国では、専門的な業務に携わる方や管理職の多くが「修士号（Master）」や「博士号（Doctor）」を取得しています。近い将来、日本でも大学院で学ぶことでキャリアアップしていく社会が到来するかもしれません。また、少し大袈裟な表現になりますが、大学院で学ぶということは「学問の世界に足を踏み入れる」ということでもあります。ひとつの学問とじっくり向き合うことには厳しさもありますが、時に無常の喜びと充実感を与えてくれるでしょう。



熊本学園大学

大学院の特徴

Features of Kumamoto Gakuen University Graduate School

学びの環境と制度について

FEATURE

1

学部教育をさらに深化！

大学院は、学部教育で得た知識や技術をさらに高めたい方や深く掘り下げて研究したい方が進学する学びの場です。学部教育で修得した基礎知識をベースとして、更に理論と実践に関する学術分野の総合的な研究・教育を行うことで、高い研究能力と教育的指導力を備えた実践力豊かな人材の養成を目的としています。また、様々な年代・背景の学生が学ぶため、学びの多様性を向上させることもできます。昭和63年に商学研究科を設置して以来、商学、経済学、国際文化、社会福祉学、更には会計専門職の分野へと門戸を広げています。その歴史の中、各方面へ数多くの高度専門職業人や研究者を輩出してきました。昭和17年創立、長い歴史と実績を持つ学校法人熊本学園。その中で大学院は、商学部、経済学部、外国語学部、社会福祉学部の学士課程(学部)の教育と密接に連携し、より深化させた研究と教育を行っています。

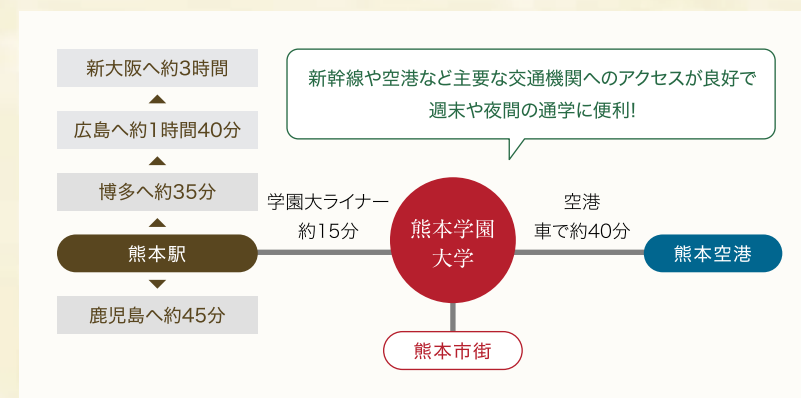
大学の学部教育での知識・技術

理論と実践に関する
学術分野の総合的な研究・教育

より深化させた研究と教育

▶ 熊本学園大学の立地と環境

熊本学園大学のある熊本市は九州のほぼ中央部に位置し、新大阪駅から熊本駅までは新幹線で最短約3時間。九州各県へのアクセスもスムーズ&スピーディーな立地です。また、市街地や観光スポットも近く、熊本駅からは便利なシャトルバスが出ており、県外からも通学しやすく暮らしやすい環境にあります。



FEATURE

2

仕事をしながら通学が可能！

高度な専門知識を学ぶために大学院へ進学する方の中には、社会人として仕事をつづけながら学ぶ方もいます。仕事をしながら大学院に通うのは大変ですが、社会で生じる具体的な課題に直面し、学ぶことの大切さや必要性に気づいて大学院に進学してくる方もいます。本学では、社会人の方が抱える負担を軽減し、大学院での学びを充実したものとするため、修士課程の全研究科において社会人入試を実施するとともに、長期履修制度や教育訓練給付制度を活用し、ゆとりある学修計画の実現や経済的負担の軽減に取り組んでいます。また、夜間に授業を実施するなど、仕事との両立にも配慮しており、働きながら学ぶ社会人の方を積極的に支援しています。

豊富な社会経験を持つ方が大学院で学ぶことは、経験に基づいた分析や多面的な視点による議論の活性化等が見込まれ、研究活動にも良い影響が生じるといえます。本学でも、社会人学生の方々は目的意識が高く、学ぶことに貪欲で、みなさん充実した日々を送られています。自らのキャリアを見つめなおし、さらなる飛躍を遂げるため、大学院進学を検討してみたいはいかがでしょうか。

現場での具体的な課題
社会での経験

+

大学院での学び

||

高度で専門的な職業能力の獲得

▶ 学びの環境について

平日昼間に限らず、夜間や土曜日などに開講される科目も数多くあり、自分の仕事形態にあわせて履修登録をすることが可能です。また、指導教員や授業担当教員との距離感が近いことも魅力のひとつです。教員とじっくり話をする機会は学部生時代ではなかなかありません。

▶ 入学試験について

修士課程に進学する方のうちほぼ半数は社会人入試を利用して入学しています。社会人入試は年3回実施しますので、ご自身の都合にあわせて入試の時期を選択することができます。

▶ 教育訓練給付で経済的な補助が受けられます

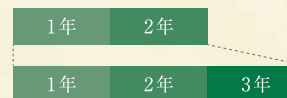
本学の修士課程・専門職学位課程は、厚生労働大臣から「一般教育訓練給付の対象講座」として指定を受けています。一定の条件を満たして修了した方は、教育訓練給付金(上限10万円)を受給できます。

※詳細は13ページに記載しています。(長期履修生は、教育訓練給付制度の申請ができません)

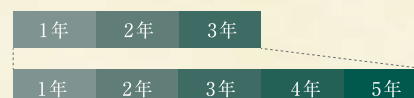
▶ ゆとりをもって学べる長期履修制度

長期履修制度とは、仕事を続けながら大学院に通う社会人などに配慮し、修業年限を延長して履修できる制度です。じっくりとゆとりをもって学びたい方におすすめです。

〔修士課程〕



〔博士後期課程〕



修業年限を、修士課程では2年から3年に、博士後期課程では3年から5年に延長することで、ゆとりを持った履修計画をたてることができます。授業料も分割されるので、経済的にも負担が軽くなります。

商学・経済学研究科

商学・経済学専攻
修士課程 博士後期課程

教育理念・目的

商学・経済学研究科は、経済社会のグローバル化、情報化、高度化及び複雑化の進展に対応するために、商学又は経済学の高度な専門知識に基づいて、膨大な情報・データを分析する能力を備え、ビジネスの各分野で指導的な役割を担う人材の養成、並びに商学、経済学の各専門分野及び地域経済において、創造的な研究活動に従事する研究者の養成を目的とします。

入学者受入れの方針〔アドミッション・ポリシー〕

● 商学分野 修士課程

商学・経済学研究科商学分野では、次に示すような方を幅広く受け入れます。

- ①商学に関する(大学)学部卒業程度の専門知識を有している方。
- ②指導教員の指導を受けながら、主体的に研究を遂行できる方。

● 経済学分野 修士課程

商学・経済学研究科経済学分野では、次に示すような方を幅広く受け入れます。

- ①経済学に関する(大学)学部卒業程度の専門知識を有している方。
- ②指導教員の指導を受けながら、主体的に研究を遂行できる方。

● 商学分野 博士後期課程

商学・経済学研究科商学分野では、次に示すような方を幅広く受け入れます。

- ①商学に関する修士課程修了程度の専門知識を有している方。
- ②指導教員の指導を受けながら、主体的に研究を遂行できる方。

● 経済学分野 博士後期課程

商学・経済学研究科経済学分野では、次に示すような方を幅広く受け入れます。

- ①経済学に関する修士課程修了程度の専門知識を有している方。
- ②指導教員の指導を受けながら、主体的に研究を遂行できる方。

商学・経済学研究科
3つのポリシー

一覧はこちら



商学・経済学研究科の特徴

商学研究科と経済学研究科の伝統を引き継ぎ、教育研究力を高めた新たな研究科。

商学・経済学研究科は、商学又は経済学において高度な専門知識を有し、超スマート社会の推進といった社会的課題や、大手グローバル企業の熊本進出に伴う新たな地域課題の解決に貢献しうる人材の養成を目指し、従来の「商学研究科」「経済学研究科」の2研究科を発展的に継承して新設した研究科です。個々の研究課題や関心に即した幅広い専門知識を身につけることが可能となることはもちろん、より専門的なデータサイエンスについて学ぶことができます。また、学び直しを含め、社会人を広く受け入れることで、ビジネス分野で活躍する地域人材の養成を目指します。

POINT 1

1研究科1専攻の中に商学分野と経済学分野を設定

1研究科1専攻の中で、商学又は経済学に関する専門知識と分析能力を幅広く身につけることができ、商学の学位又は経済学の学位を取得することができます。自身の研究テーマや問題関心に応じ、両分野の基礎科目等から幅広く選択履修できます。

POINT 2

これからの時代に求められるデータサイエンスの素養を身につける

※修士課程

POINT 3

多様な経歴の入学者を受け入れる
フォローアップ演習を設置

※修士課程

商学・経済学研究科 商学・経済学専攻

商学分野
修士(商学)
博士(商学)

経済学分野
修士(経済学)
博士(経済学)

従来の2つの研究科の情報系科目を集約、再編成、拡充し、データサイエンス系基礎科目を両分野共通講義科目として配置しています。商学・経済学研究の手法の1つとしてデータサイエンスの素養を身につけることが可能です。

※経済学分野にはデータサイエンス系の応用科目も配置

社会人、商学部・経済学部以外の卒業者等が商学、経済学の学究に円滑に取り組めるように、学部レベルの商学及び経済学の知識を教授する「フォローアップ演習」(基礎演習)を設けています。また、公務員試験対応科目も設置しています。

MESSAGE 研究科長より

商学・経済学研究科は、これまでの商学研究科、経済学研究科の伝統を発展的に継承し、データサイエンス科目を充実させた新しい研究科です。学生は商学と経済学のいずれかに軸足を置いて研究を行います。同時にもう一方の学問を学ぶことも可能です。また、データサイエンスの素養を身につけ、蓄積された大量のデータを活用しながら、より複雑な課題の解決策を模索することも可能です。変化が激しく、予測困難な社会において、ビジネスや地域社会が抱える課題に果敢に挑戦しようとする方々をお待ちしています。

商学・経済学研究科長 金子 林太郎 教授



【開設科目一覧】(令和7年度予定)

商学・経済学研究科 商学・経済学専攻 修士課程

科目区分		科目番号	授業科目	単位
基礎科目	商学分野	1	商学原理講義	4
		2	流通・マーケティング論講義	4
		3	マーケティング・リサーチ論講義	4
		4	流通政策論講義	4
		5	交通論講義	4
		6	ビジネス特講Ⅰ	2
		7	ビジネス特講Ⅱ	2
		8	流通論基礎講義	2
		9	金融論講義	4
		10	証券経済論講義	4
		11	保険論講義	4
		12	経営財務論講義	4
		13	会計学原理講義	4
		14	財務会計論講義	4
		15	管理会計論講義	4
		16	会計監査論講義	4
		17	会計制度論講義	4
	経営系	18	経営史講義	4
		19	労務管理論講義	4
		20	経営管理論講義	4
		21	ビジネスリテラシーⅠ	2
		22	ビジネスリテラシーⅡ	2
		23	ビジネス倫理	2
		24	会社法講義	4
		25	労働法講義	4
		26	会社税法講義	4
		27	ミクロ経済学講義	2
	経済学分野	28	マクロ経済学講義	2
		29	実証分析講義	2
		30	ゲーム理論講義	4
		31	動学マクロ経済学講義	4
		32	計量経済学講義	4
		33	経済政策論講義	4
		34	産業組織論講義	4
		35	労働経済論講義	4
		36	環境経済論講義	4
		37	農業政策論講義	4
応用科目	商学分野	38	社会思想史講義	4
		39	財政学講義	4
		40	企業法講義	4
		41	税法講義	4
		42	現代社会問題講義(租税論)	2
		43	地域公共政策論講義	4
		44	国際経済論講義	4
		45	開発経済論講義	4
		46	国際関係論講義	4
		47	国際経済法講義	4
	共通	48	統計学	2
		49	情報セキュリティ	2
		50	情報基礎講義	2
		51	データサイエンス概論	4
		52	人工知能概論	2
		53	情報処理論講義	4
		54	空間情報解析講義	4
		55	応用システム論講義	4
	経済学分野	56	流通・マーケティング論基礎演習	2
		57	会計ファイナンス基礎演習	2
		58	経営学基礎演習	2
		59	ビジネス法基礎演習	2
		60	ミクロ経済学基礎演習	1
		61	マクロ経済学基礎演習	1
		62	実証分析基礎演習	1
	商学分野	63	商学原理演習	8
		64	流通・マーケティング論演習	8
		65	マーケティング・リサーチ論演習	8
		66	交通論演習	8
		67	保険論演習	8
		68	経営財務論演習	8
		69	財務会計論演習	8
		70	経営史演習	8
		71	労務管理論演習	8
		72	経営管理論演習	8
	経済学分野	73	ゲーム理論演習	8
		74	動学マクロ経済学演習	8
		75	計量経済学演習	8
		76	経済政策論演習	8
		77	産業組織論演習	8
		78	労働経済論演習	8
		79	環境経済論演習	8
		80	農業政策論演習	8
		81	社会思想史演習	8
		82	財政学演習	8
	地域経済・国際経済系	83	地域公共政策論演習	8
		84	国際経済論演習	8
		85	開発経済論演習	8

応用科目	経済学分野	地域経済・国際経済系	86	国際関係論演習	8
			87	国際経済法演習	8
		データサイエンス系	88	データ分析応用演習	8
			89	情報処理論演習	8
			90	空間情報解析演習	8
公務員試験科目	経済学分野		91	応用システム論演習	8
			92	ミクロ経済学問題解法	1
			93	マクロ経済学問題解法	1

商学・経済学研究科 商学・経済学専攻 博士後期課程

科目区分		科目番号	授業科目	単位
基礎科目	商学分野	1	流通・マーケティング論研究指導	4
		2	流通・マーケティング論研究指導演習	12
		3	交通論研究指導	4
		4	交通論研究指導演習	12
		5	マーケティング・リサーチ論研究指導	4
		6	マーケティング・リサーチ論研究指導演習	12
		7	保険論研究指導	4
		8	保険論研究指導演習	12
		9	財務管理論研究指導	4
		10	財務管理論研究指導演習	12
		11	会計学原理研究指導	4
		12	会計学原理研究指導演習	12
		13	財務会計論研究指導	4
		14	財務会計論研究指導演習	12
		15	会社税法研究指導	4
		16	会社税法研究指導演習	12
		17	会計制度論研究指導	4
		18	会計制度論研究指導演習	12
		19	管理会計論研究指導	4
		20	管理会計論研究指導演習	12
	経営・情報系	21	経営史研究指導	4
		22	経営史研究指導演習	12
		23	経営管理論研究指導	4
		24	経営管理論研究指導演習	12
		25	労務管理論研究指導	4
		26	労務管理論研究指導演習	12
	経済学分野	27	ゲーム理論研究指導	4
		28	動学マクロ経済学研究指導	4
		29	動学マクロ経済学研究指導演習	12
		30	情報処理論研究指導	4
		31	情報処理論研究指導演習	12
		32	経済政策論研究指導	4
		33	経済政策論研究指導演習	12
		34	農業政策論研究指導	4
		35	労働経済論研究指導	4
		36	環境経済論研究指導	4
応用科目	経済学分野	37	地方財政論研究指導	4
		38	地域経済分析研究指導	4
		39	地域経済分析研究指導演習	12
		40	地域公共政策論研究指導	4
		41	地域公共政策論研究指導演習	12
		42	国際経済論研究指導	4
		43	国際経済論研究指導演習	12
		44	開発経済論研究指導	4
		45	開発経済論研究指導演習	12

科目の詳しい内容は
「シラバス検索」で確認！



国際文化研究科

国際文化専攻
修士課程 博士後期課程

教育理念・目的

国際文化研究科は、現代のような国際化・グローバル化の時代において、国際文化の諸分野の研究を通じ、異文化理解を促進すると同時に、グローバルな視野と豊かな識見をもち、国際社会で活躍できる高度な専門的知識と視野を持った研究者・専門家、並びに職業人の養成を目的とします。

入学者受入れの方針 [アドミッション・ポリシー]

● 修士課程

本学大学院国際文化研究科修士課程においては、日本文化・東アジア文化・欧米文化いずれかの専門領域での基礎的知識(学部卒業程度)と研究に必要な語学力とを有し、以下のことを成し遂げたいと考える方を受け入れます。

①該当文化圏の言語や文化についての領域で、更に深い見識を身につけ、自らの研究を進めたい方。

②該当文化圏の言語や文化についての領域で、自らの専門的研究成果をもって社会に貢献したい方。

なお、入学者選抜については、基礎的知識(学部卒業程度)を有しているかを確認するために筆記試験や書類審査を行い、上記①から②に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

● 博士後期課程

本学大学院国際文化研究科博士後期課程においては、日本文化・東アジア文化・英米文化いずれかの専門領域で、特定の研究課題・研究方法についての知識(修士課程修了程度)と、高度な研究に必要な語学力を有し、以下のことを成し遂げたいと考える方を受け入れます。

①該当文化圏の言語や文化についての領域で、特定の研究課題を更に追及し、研究成果を博士論文にまとめた方。

②該当文化圏の言語や文化についての領域で、独自性のある研究を行い、その成果をもって社会に貢献したい方。

なお、入学者選抜については、博士後期課程における研究が滞りなく遂行できるかどうかを確認するために筆記試験や修士論文の審査を行い、上記①から②に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

国際文化研究科
3つのポリシー

一覧はこちら



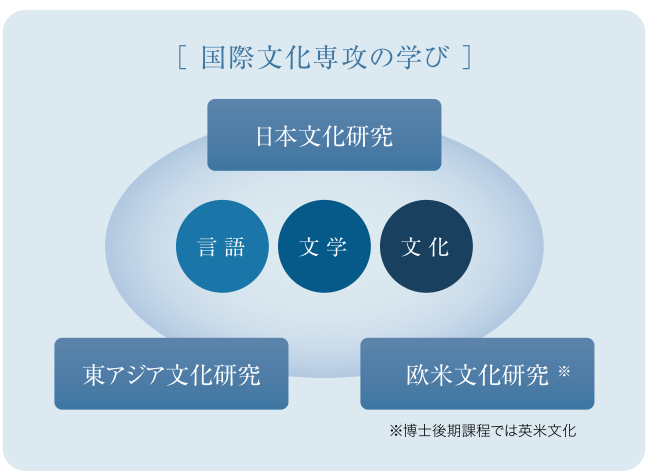
国際文化研究科の特徴

本研究科は、修士課程、博士後期課程ともに、日本文化研究、東アジア文化研究、欧米文化研究を3本の柱に、それぞれの分野において、言語・文学、文化の各方面の研究を国際的な視点から、幅広く、深く進めることができるカリキュラムを用意しています。日本、東アジア、欧米のそれぞれの文化圏について、それぞれの分野における新しい識見を提供し、研究をサポートすることで、国際化時代に求められるグローバルな視野を持ち、高度な専門的知識をも備えた研究者、専門家を育成します。

- POINT 1

日本文化、東アジア文化、欧米文化にわたる幅広い研究領域に対応している。
- POINT 2

各文化領域において、語学・文学・文化・言語教育など、多彩な分野を持つ。



M E S S A G E 研究科長より

国際文化研究科は、日本文化・東アジア文化・欧米文化(博士後期課程では「英米文化」)の3分野において、時代の変化に適應し、活躍できる人材の養成を目的としています。修士課程では、それぞれの専門分野に関する基礎を学び、研究する態度を涵養します。博士後期課程では、同分野の研究者としての自立を目指します。なお、本研究科は研究者養成だけを目的としているわけではありません。大学や社会で学んで経験したことをもっと深めたい方や新しい知見を得たいと考えている方も積極的に受け入れたいと考えています。多様な知的要求を持つ人たちと、各分野の専門教員によって形成される「知の共同体」に加わりませんか。



国際文化研究科長 申 明直 教授

就職DATA

主な進学・就職先の実績
(現職継続者含む)

過去の主な進学先

過去の主な就職先

熊本学園大学大学院国際文化研究科博士後期課程、熊本学園大学大学院国際文化研究科研究生(修士課程・博士後期課程)

熊本県高等学校教員(英語)、専門学校東京国際ビジネスカレッジ、専修大学玉名高等学校(教員)、崇城大学(非常勤講師)、沖縄国際大学(教員)、尚絅中学校・高等学校(教員)、九州測量専門学校日本語科(講師)、韓一外国語学院(講師)、熊本ゼミナール(講師)、株式会社鶴屋百貨店、株式会社九州不動産鑑定所

【開設科目一覧】(令和7年度予定)

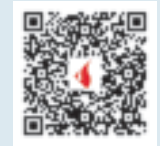
国際文化研究科 国際文化専攻 修士課程

科目区分	科目番号	授業科目	単位
日本文化研究	1	古典文学特殊研究	4
	2	古典文学特殊研究演習	8
	3	近代文学特殊研究Ⅰ	4
	4	近代文学特殊研究Ⅰ演習	8
	5	近代文学特殊研究Ⅱ	4
	6	近代文学特殊研究Ⅱ演習	8
	7	言語処理論特殊研究	4
	8	言語処理論特殊研究演習	8
	9	日本史特殊研究	4
	10	日本語教育特殊研究	4
	11	日本語教育特殊研究演習	8
東アジア文化研究	12	東アジア(中国)言語文化特殊研究Ⅰ	4
	13	東アジア(中国)言語文化特殊研究Ⅰ演習	8
	14	東アジア(中国)言語文化特殊研究Ⅱ	4
	15	東アジア(中国)言語文化特殊研究Ⅱ演習	8
	16	東アジア(中国)言語文化特殊研究Ⅲ	4
	17	東アジア(中国)言語文化特殊研究Ⅲ演習	8
	18	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊研究Ⅳ	4
	19	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊研究Ⅳ演習	8
	20	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊研究Ⅴ	4
	21	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊研究Ⅴ演習	8
	22	東アジア(中国)言語文化特殊研究Ⅵ	4
	23	東アジア(中国)言語文化特殊研究Ⅵ演習	8
	24	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊研究Ⅶ	4
	25	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊研究Ⅶ演習	8
	26	東アジア(中国)地域文化特殊研究Ⅰ	4
	27	東アジア(中国)地域文化特殊研究Ⅰ演習	8
	28	東アジア(韓国・朝鮮)地域文化特殊研究Ⅱ	4
	29	東アジア(韓国・朝鮮)地域文化特殊研究Ⅱ演習	8
	30	東アジア地域言語文化総合演習	2
欧米文化研究	31	イギリス文学特殊研究	4
	32	イギリス文学特殊研究演習	8
	33	アメリカ文学特殊研究Ⅰ	4
	34	アメリカ文学特殊研究Ⅰ演習	8
	35	アメリカ文学特殊研究Ⅱ	4
	36	アメリカ文学特殊研究Ⅱ演習	8
	37	英語学特殊研究Ⅰ(英語教育評価論)	4
	38	英語学特殊研究Ⅰ(英語教育評価論)演習	8
	39	英語学特殊研究Ⅱ(外国語習得論)	4
	40	英語学特殊研究Ⅱ(外国語習得論)演習	8
	41	英語学特殊研究Ⅲ(文体論)	4
	42	英語学特殊研究Ⅲ(文体論)演習	8
	43	英語学特殊研究Ⅳ(応用言語学)	4
	44	英語学特殊研究Ⅳ(応用言語学)演習	8
	45	英語コミュニケーション論特殊研究	4
	46	英語コミュニケーション論特殊研究演習	8
	47	フランス文学特殊研究(フランス詩論)	4
	48	ドイツ語特殊研究(ドイツ現代言語論)	4
	49	スペイン語特殊研究	4
	50	スペイン語特殊研究演習	8
	51	西洋史特殊研究	4

国際文化研究科 国際文化専攻 博士後期課程

科目区分	科目番号	授業科目	単位
日本文化研究	1	古典文学特殊講義	4
	2	古典文学特殊研究指導	12
	3	近代文学特殊講義Ⅰ	4
	4	近代文学特殊研究指導Ⅰ	12
	5	近代文学特殊講義Ⅱ	4
東アジア文化研究	6	東アジア(中国)言語文化特殊講義Ⅰ	4
	7	東アジア(中国)言語文化特殊研究指導Ⅰ	12
	8	東アジア(中国)言語文化特殊講義Ⅱ	4
	9	東アジア(中国)言語文化特殊研究指導Ⅱ	12
	10	東アジア(中国)言語文化特殊講義Ⅲ	4
	11	東アジア(中国)言語文化特殊研究指導Ⅲ	12
	12	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊講義Ⅳ	4
	13	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊研究指導Ⅳ	12
	14	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊講義Ⅴ	4
	15	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊研究指導Ⅴ	12
	16	東アジア(中国)言語文化特殊講義Ⅵ	4
	17	東アジア(中国)言語文化特殊研究指導Ⅵ	12
	18	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊講義Ⅶ	4
	19	東アジア(韓国・朝鮮)言語文化特殊研究指導Ⅶ	12
	20	東アジア(中国)地域文化特殊講義Ⅰ	4
	21	東アジア(中国)地域文化特殊研究指導Ⅰ	12
	22	東アジア(韓国・朝鮮)地域文化特殊講義Ⅱ	4
	23	東アジア(韓国・朝鮮)地域文化特殊研究指導Ⅱ	12
英米文化研究	24	アメリカ文学特殊講義	4
	25	アメリカ文学特殊研究指導	12
	26	イギリス文学特殊講義	4
	27	イギリス文学特殊研究指導	12
	28	英語学特殊講義(文体論)	4
	29	英語学特殊研究指導(文体論)	12
	30	英語教育学特殊講義Ⅰ(評価論)	4
	31	英語教育学特殊研究指導Ⅰ(評価論)	12
	32	英語教育学特殊講義Ⅱ(外国語習得論)	4
	33	英語教育学特殊研究指導Ⅱ(外国語習得論)	12

科目の詳しい内容は
「シラバス検索」で確認!



社会福祉学研究科

社会福祉学専攻 修士課程 博士後期課程
福祉環境学専攻 修士課程

教育理念・目的

社会福祉学研究科は、現代の多様化、高度化する社会福祉や社会保障の課題に応えるべく、人権保障を基礎にして、社会福祉学や福祉環境学領域における実践、並びに社会福祉や社会保障政策の理論と歴史を研究することを通して、社会福祉領域の指導者として活躍しう高度専門職業人、並びに広い視野を有する研究者を養成することを目的とします。

入学者受入れの方針「アドミッション・ポリシー」

● 社会福祉学専攻 修士課程

社会福祉学に関する基礎的知識(学部卒業程度)を有し、以下のいずれかに該当する方を受け入れます。

- ①大学において社会福祉学を学び、更に高度な専門的能力の修得を目指す方。
- ②社会福祉学領域における研究を活かし、自らの研究能力、職業能力を高めようとする方。
- ③すでに社会福祉分野で職業人として活躍しながら更なる能力向上を目指す方。
- ④社会福祉以外の分野で職業人として活躍しており、社会福祉学を研究することにより、更に新たな職業領域を開拓しようとする方。
- ⑤社会における福祉や環境に関する諸課題に関心を有し、自らの力で課題解決に取り組む姿勢と意欲を持つ方。

● 福祉環境学専攻 修士課程

社会福祉学または福祉環境学に関する基礎的知識(学部卒業程度)を有し、以下のいずれかに該当する方を受け入れます。

- ①大学において福祉環境学を学び、更に高度な専門的能力の修得を目指す方。
- ②福祉環境学領域における研究を活かし、自らの研究能力、職業能力を高めようとする方。
- ③すでに職業人として活躍しており、福祉環境学を研究することにより、更に新たな職業領域を開拓しようとする方。
- ④国際社会における福祉や環境に関する諸課題に関心を有し、自らの力で課題解決に取り組む姿勢と意欲を持つ方。

● 社会福祉学専攻 博士後期課程

本学大学院社会福祉学研究科博士後期課程においては、入学前に社会福祉学に関する専門的学識を有し、以下のいずれかの高度で専門的な研究意欲のある方を受け入れます。

- ①社会福祉に関する研究を蓄積してきた方で、更に社会福祉学のより高度で専門性の高い調査方法や政策・理論を修得する意欲のある方。
- ②研究者として、社会福祉学の近接科目を専門としつつも、社会福祉学(社会政策・ソーシャルワーク)の高度で専門的研究に意欲のある方。
- ③専門職の職業人として地域社会に寄与しているが、更に社会福祉学に関する調査・研究を究めてより専門性の高い領域で地域社会に貢献したい方。

なお、入学者選抜については、博士後期課程における研究が滞りなく遂行できるかどうかを確認するために筆記試験や修士論文の審査を行い、上記①から③に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

社会福祉学研究科 3つのポリシー

一覧はこちら

社会福祉学専攻



福祉環境学専攻



社会福祉学研究科の特徴

多様な研究テーマに対応できる体制

各自が綿密な研究計画書を作成し、それをもとに研究指導体制を整えていくことから、学位取得の道はスタートします。社会福祉学における理論と歴史、制度と政策、また福祉環境学領域の地域と環境について研究を進めます。第一線で活躍する指導教員のきめ細かい指導と、社会福祉学・福祉環境学領域の多様な選択科目を履修することにより、広い教養と深い学識を身につけることができます。修了生は研究者(大学・短大等の教員)や社会福祉実践の指導者(施設長・センター長等)として活躍しています。

MESSAGE 研究科長より

社会福祉学研究科では、社会福祉実践と研究の質を高め発展させていく人材を育成しています。特に、私たちの生活圏域と地球規模の世界のつながりを意識するグローバルな視点から、社会で起きている様々な問題をとらえ、その解決につながる知識、技術、経験を総合的に深めていく学びを支援します。たとえば家族や地域社会の中で生じる福祉課題も、社会科学の諸学問や自然科学の知見から読み解くと、広い社会との繋がりがあることが見えてきます。そして、気候変動や環境破壊が、いかに世界の貧困、差別、排除と結びついているかが見えてきます。多彩な経験を持つ研究者がみなさんの学びを支援する準備を整えてお待ちしています。

社会福祉学研究科長 西崎 緑 教授



就職DATA

主な進学・就職先の実績
(現職継続者含む)

過去の主な進学先

熊本学園大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程、熊本学園大学大学院社会福祉学研究科研究生(修士課程・博士後期課程)

過去の主な就職先

済生会みずみ病院、社会福祉法人くまもと障害者労働センター、熊本第一病院、熊本大学医学部附属病院、社会福祉法人熊本県コロナ協会、福岡県立大学附属研究所不登校・ひきこもりサポートセンター、活水女子大学(教員)、熊本市立出水南中学校、熊本YMCA学院(教員)、熊本学園大学(教員)、熊本保健科学大学(教員)、京都橘大学(教員)、徳山大学(教員)、熊本駅前看護リハビリテーション学院(教員)、中九州短期大学(教員)、品川区役所、熊本県庁、上天草市役所、日本郵便株式会社、社会福祉法人わくわく、一般社団法人未来の種、小さな森の保育園

【開設科目一覧】(令和7年度予定)

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程

科目区分	科目番号	授業科目	単位
主要 学科 科目	必修科目	1 社会福祉学・福祉環境学方法論専門研究	2
		2 社会福祉学専門研究	2
		3 社会福祉学専門研究演習	8
		4 高齢者保健福祉論専門研究	2
		5 高齢者福祉論専門研究	2
		6 高齢者福祉論専門研究演習	8
		7 障害児者福祉論専門研究	2
		8 障害児者福祉論専門研究演習	8
		9 地域福祉論専門研究	2
		10 地域福祉論専門研究演習	8
		11 障害学専門研究	2
		12 障害学専門研究演習	8
		13 児童福祉論専門研究	2
		14 児童福祉論専門研究演習	8
		15 保育学専門研究	2
	選択必修科目	16 保育学専門研究演習	8
		17 社会保障論専門研究	2
		18 社会保障論専門研究演習	8
		19 社会福祉法制専門研究	2
		20 社会福祉法制専門研究演習	8
		21 家族社会学専門研究	2
		22 家族社会学専門研究演習	8
		23 日本社会福祉史専門研究	2
		24 日本社会福祉史専門研究演習	8
		25 西欧社会福祉史専門研究	2
		26 西欧社会福祉史専門研究演習	8
		27 地域社会専門研究	2
		28 地域社会専門研究演習	8
		29 現代人権政策論専門研究	2
		30 現代人権政策論専門研究演習	8
		31 福祉臨床と心理学専門研究	2
		32 福祉臨床と心理学専門研究演習	8
		33 ソーシャルワーク方法論専門研究	2
関連 学科 科目	選択科目	34 社会福祉方法論専門研究	2
		35 女性福祉論専門研究	2
		36 社会福祉実習	2

社会福祉学研究科 福祉環境学専攻 修士課程

科目区分	科目番号	授業科目	単位
主要 学科 科目	必修科目	1 社会福祉学・福祉環境学方法論専門研究	2
		2 ソーシャルワーク・リサーチ専門研究	2
		3 福祉環境学フィールドワークⅠ(水俣地域・不知火海、実地調査・ワークショップ)	2
	選択必修科目	4 環境福祉論専門研究	2
		5 環境福祉論専門研究演習	8
		6 環境法学専門研究	2
		7 環境法学専門研究演習	8
		8 環境社会論専門研究	2
		9 環境社会論専門研究演習	8
		10 生活環境論専門研究	2
		11 生活環境論専門研究演習	8
		12 環境マネジメント論専門研究	2
		13 環境マネジメント論専門研究演習	8
		14 人権社会論専門研究	2
		15 人権社会論専門研究演習	8

主要 学科 科目	選択必修科目	16 社会政策専門研究	2
		17 社会政策専門研究演習	8
		18 精神保健福祉学専門研究	2
		19 精神保健福祉学専門研究演習	8
		20 ソーシャルワーク・リサーチ専門研究演習	8
		21 ライフウェルネスと健康・スポーツ心理学専門研究	2
		22 ライフウェルネスと健康・スポーツ心理学専門研究演習	8
		23 スポーツ社会学専門研究	2
関連 学科 科目	選択科目	24 健康教育学専門研究	2
		25 福祉環境学フィールドワークⅡ(国内公害発生地域臨地研修)	2
		26 福祉環境学フィールドワークⅢ(海外公害発生地域臨地研修)	2
		27 社会調査方法論専門研究	2
		28 環境社会学専門研究	2
		29 環境経済学専門研究	2
		30 環境生態学専門研究	2
		31 開発と環境専門研究	2
		32 海外環境事情専門研究	2

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程

科目区分	科目番号	授業科目	単位
社会福祉学領域 (理論と歴史)	1	社会福祉学方法論高度専門研究	2
	2	社会福祉学特殊講義Ⅰ(社会福祉理論)	4
	3	社会福祉学特殊研究指導Ⅰ(社会福祉理論)	12
	4	社会福祉学特殊研究指導Ⅱ(西欧社会福祉史)	12
	5	社会福祉学特殊講義Ⅳ(障害学)	4
	6	社会福祉学特殊研究指導Ⅳ(障害学)	12
	7	社会福祉学特殊講義Ⅴ(精神保健福祉学)	4
	8	社会福祉学特殊研究指導Ⅴ(精神保健福祉学)	12
	9	社会福祉学特殊講義Ⅵ(高齢者福祉論)	4
	10	社会福祉学特殊研究指導Ⅵ(高齢者福祉論)	12
	11	社会福祉学特殊講義Ⅶ(地域福祉論)	4
	12	社会福祉学特殊研究指導Ⅶ(地域福祉論)	12
社会福祉政策学領域 (制度と政策)	13	社会福祉政策学特殊講義Ⅰ(社会保障論)	4
	14	社会福祉政策学特殊研究指導Ⅰ(社会保障論)	12
	15	社会福祉政策学特殊講義Ⅱ(社会政策)	4
	16	社会福祉政策学特殊研究指導Ⅱ(社会政策)	12
	17	社会福祉政策学特殊研究指導Ⅲ(人権社会論)	12
	18	社会福祉政策学特殊講義Ⅳ(保育学)	4
	19	社会福祉政策学特殊研究指導Ⅳ(保育学)	12
環境福祉学領域 (環境と地域)	20	環境福祉学特殊研究指導Ⅰ(環境福祉学)	12
	21	環境福祉学特殊講義Ⅱ(生活環境学)	4
	22	環境福祉学特殊研究指導Ⅱ(生活環境学)	12
	23	環境福祉学特殊研究指導Ⅳ(地域社会論)	12

科目の詳しい内容は
「シラバス検索」で確認！



特集 在學生に聞いてみよう

大学院に通っている在學生は、どのようにして大学院進学を決意したのか。大学院に進学した理由やきっかけについて、今回は社会福祉学研究科に在学中のおふたりに聞いてみました。大学院進学にあと一歩踏み切れない方、必見です！



社会福祉学研究科
2年
遠矢 翔太さん

Q 遠矢さんが大学院進学を考えるようになったのはいつですか？

A 私は大学を卒業後、精神科病院や行政機関でソーシャルワーカーとして勤務してきましたが、仕事でクライアントやそのご家族の方、支援者の方々と接するなかで葛藤を抱えることが多くありました。このことが大学院進学を考えるきっかけになりました。

Q 葛藤ですか？

A 学部生の時に、自己決定の尊重は援助者とクライアントが良好な援助関係を形成するための行動原則であることを学びました。しかし、いざ現場で働いてみるとそのような支援ができる場面ばかりではなく、このことを巡ってモヤモヤすることが多々ありました。私が感じるモヤモヤとしたものを理解するためには、自己決定に関することだけではなく、もっと本質的で幅広い社会福祉に関する理解が必要

だと思ったんです。

Q 本質的に社会福祉を学ぶために大学院へ進学された、ということなんですね。

A そうですね。私が感じていたモヤモヤした思いは、現場では「しょうがないこと」として放置されてしまっているようなところもあります。しかし、「しょうがない」と済ませてしまうのではなく、感じた葛藤やモヤモヤした思いをきちんと言語化すること、感じた感覚の根底にある本質について理解することは、大切だと思うんです。

Q なるほど。では、進学先として本学の大学院を選んだ理由は何かありますか？

A 仕事をしていたこともあり、当初は通信制の大学院を検討していたんですが、やはり対面での授業に参加したかったことと、授業が平日の夜間に実施されていて、社会人に配慮してある点が決め手でしたね。社会福祉学に関して総合的に学べるカリキュラムにも魅力を感じました。

Q 大学院に進学して感じていることを聞かせてください。

A 大学院は少人数で、先生との距離が近いところがいいな、と感じています。疑問に感じたことをすぐに質問できるのはいいと思いますね。あとは、学ぶ空間によって多少差があると思

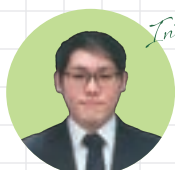
いますが、社会福祉学研究科はディスカッションが多く、先生や他の院生と意見交換するため、自分にはなかった発想や気づきを得ることができ、とても充実した時間になっていると感じます。一方で、けっこう課題がよく出るんですけど、仕事をしながらの課題作成はどうしても時間がなくて、時間の捻出には苦労しています。

Q 課題や論文作成の時間はどうやって捻出していますか？

A 今は、休日を利用したり、仕事の昼休みの時間を使ったりしています。

Q では最後に、大学院進学を考えている方や悩んでいる方に、アドバイスやメッセージをお願いします。

A 私は大学院進学を考えはじめてから入学の日を迎えるまでに時間がかかりました。今振り返ると決断に時間がかかったのは、仕事をしながらの学生生活にイメージが持てず、忙しいことを理由に先延ばしにしていたのだと思います。仕事をしながらの通学や論文作成はたしかに大変ですが、日々新しい学びを感じることができて、私は進学して良かったと思っています。大学院進学は、自分を成長させることのできる貴重な機会を得ることができる場です。ぜひ進学してみてください。



社会福祉学研究科
2年
本堀 伸さん

Q 本堀さんは、いつ頃から大学院で学ぶことを意識しはじめたのですか？

A 私は大学を卒業したあと、精神保健福祉士、社会福祉士として働いてきました。20代の頃は猪突猛進といった感じで、がむしゃらに働いていたのですが、一方で、——これは多くの精神保健福祉士や社会福祉士が仕事をしていく中で必ず感じることだと思いますが——日々「自分が提供した支援が、本当に対象者のためになっているのか」ということを考えるようになり、自問自答する日々のなかで大学院への進学を考えるようになりました。30代になったばかりの頃だったと思います。

Q お仕事をしながら大学院に通う、ということについて、不安やためらいはありましたか？

A ありました。やはりどうしても職場に迷惑をかけてしまうと思うし、一番ためらいを感じたのは、経済面というか、学費や研究にかかる金銭面でのことですね。熊本学園大学の大学院は

比較的学費が安い方ですが、それでもまとまった金額を用意する必要があるし、「その金額を出すだけの意味があることなのか」という点については真剣に悩みました。

Q 本学の大学院に進学することを決めた「決め手」のようなものはあるのでしょうか？

A 私は他大学の出身者ですが、熊本学園大学は九州のなかでも福祉の教育に力を入れている大学だと思います。社会福祉教育に関して歴史や伝統がありますし、大学院も修士課程だけでなく博士後期課程まで持っていて、福祉を学ぶ環境として他にはない充実ぶりだと思いますよ。

Q うれしいお言葉、ありがとうございます！実際に進学してみた感想はいかがでしょう？

A 福祉環境学専攻の学生が少なく、近い研究をしている人との交流が少ないことはちょっと残念でした。ただ、少人数だからでしょうか、指導の先生はもちろん、研究科のどの先生とも距離を近く感じます。講義でのディスカッションは学びの深みを感じることができて、進学して良かったな、と感じる瞬間ですね。

Q 仕事をしながら大学院に通学するうえで気を付けていることがあれば教えてください。

A どの仕事もそうですが、仕事をするうえではチームワークが重要です。仕事をしながら大学

院で学ぶということについて、職場の同僚や上司の理解・協力は不可欠であり、そのためにも、仕事をする時には周囲の人たちへの感謝の気持ちを大切に、言葉で伝えるようにして働いています。他には、健康を維持することを常に意識するようにしています。仕事をやりながら大学院で学ぶことは大変なので、頑張りすぎてしまい、心身ともに疲れてしまうことがあります。だからこそ、休日はよく食べ、よく寝て、コンディションを整えて、オンとオフのメリハリに気を付けています。

Q 最後に、大学院進学を考えている方や悩んでいる方に、アドバイスやメッセージをお願いします。

A 社会人になって仕事をしていると、疑問を感じたり悩みを抱えることも少なくないと思いますが、そのような方は大学院進学を検討して、ぜひ思い切って進学してほしいと言いたいですね。学びの機会は非常に重要で、人生を豊かにするものだと思います。とくに、社会福祉士や精神保健福祉士として働いている人にとって、大学院で学ぶことは、自身を成長させることはもちろん、本当にやりたかったことや、これからの生き方を考えることにもつながる新しい気づきを得ることができると思います。自らアクションを起こすことで、人生を充実したものにしたいと思います。

履修ガイド・学位授与までのプロセス

大学院の学修における最大の特徴は「論文の作成」にあるといえるでしょう。論文の作成では、自身の関心に基づいて研究テーマを決め、指導教員の指示等に基づいて、関連する講義科目を履修したり、文献を確認したり、調査を行ったり、先行する研究について学んだりしながら、少しずつ論文の体裁にまとめていきます。

文献を確認する際には、外国の文献を確認することもあるため、ある程度の語学力が必要となります。また、調査には様々な手法がありますが、最終的にはコンピュータを使って集計したり、グラフにまとめたりすることが多いので、一定程度的パソコンスキルや統計処理に関する知識が必要となることもあります。

なお、論文の執筆においては、その「独自性」が重要となるため、引用文や参照した文献、資料の出所についてきちんと明記しておく必要があり、悪質な場合、盗用や剽窃となることもあります。また、ChatGPTに代表される生成AIサービスの利用についても注意が必要です。

このように検討と推敲を繰り返し、少しずつ論文としての精度を高めていき、最終的には審査委員会によって論文が審査されます。審査に合格することで修士(Master)や博士(Doctor)の学位が授与されますが、最終審査までには複数回、研究の途中経過を発表する機会が設けられます。

以下は、本学大学院において学位が授与されるまでの過程(プロセス)や、修了するための条件(修了要件)について説明したものです。

修士課程

履修ガイド

- 専修科目1科目(入学試験の際に希望した専修科目)を自己の専修科目として2年以上履修し、各研究科が定める方法により、30単位以上を修得しなければなりません。
- 専修科目の担当教員を指導教員として、授業科目の選択、修士論文の作成、その他研究全般にわたって指導を受けます。
- 修士論文は、専修科目について提出します。

修了要件

2年以上在学し、かつ所定の単位を修得したうえ、修士論文の審査並びに最終試験に合格する必要があります。合格した方には修士の学位が授与されます。

学位授与までのプロセス

1
年
次

- 指導教員による指導のもと、各自の研究テーマを決定します。
- 修士論文テーマ及び内容に従い、指導体制(主査1名+副査2名)を確定します。
- 公開の研究経過報告会(第1回口頭発表)で研究経過報告を行います。

2
年
次

- 指導教員による研究指導のもと、研究の具体化、深化をはかります。
- 公開の中間報告会(第2回口頭発表)で研究経過報告を行い、修士論文の完成を目指します。
- 修士論文提出
- 修士論文審査(論文審査及び口述試問)
- 合否判定

学位授与

博士後期課程

履修ガイド

- 専修科目1科目(入学試験の際に希望した専修科目)を自己の専修科目として3年以上履修し、指導教員の指導を受けることによって12単位を修得しなければなりません。
- 専修科目の担当教員を指導教員として、授業科目の選択、博士論文の作成、その他研究全般にわたって指導を受けます。
- 博士の学位論文は、専修科目について提出します。

修了要件

3年以上在学して所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査並びに最終試験に合格する必要があります。合格した方には博士の学位が授与されます。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績をあげた方については、1年以上在学すれば修了が可能です。

学位授与までのプロセス

1
年
次

春学期

秋学期

- 指導教員による指導のもと、各自の研究テーマを決定します。
- 研究計画書(長期計画、年次計画)を作成します。
- 博士論文テーマ及び内容に従い、指導体制(主査1名+副査2名)を確定します。
- 公開の研究経過報告会(第1回口頭発表)で研究経過報告を行います。

2
年
次

春学期

秋学期

- 指導教員による研究指導のもと、研究の具体化、深化をはかります。
- 公開の研究経過報告会(第2回口頭発表)で研究経過報告を行います。
- 博士論文テーマの最終決定、論文の完成を目指します。

3
年
次

- 論文指導委員会による総合的な学位論文のチェックを受け、最終段階へ向かいます。
- 論文予備審査の申請を行います。
- 予備審査の結果が可であれば、博士論文を提出します。
- 博士論文審査(論文審査及び口述試問)
- 合否判定

学位授与

支援制度

学会活動等援助金制度

院生の学会活動を奨励し、学術研究の促進を図るため、学会等での研究発表や学会誌に論文等を掲載する際に、必要な経費の一部を援助する制度です。

ティーチング・アシスタント制度

学部や大学院教育におけるきめ細かい指導の実現と、院生が将来教員や研究者になるためのトレーニングの機会を提供することを目的として、ティーチング・アシスタント制度を設けており、毎年多くの院生が活躍しています。この制度を通じて、豊富な研究業績や実務経験を持った教員のもとで教育や研究手法を学び取り、また一定の報酬を得ることで院生への経済的支援の一役を担っています。

文献等複写援助

文献複写、授業用レジュメ作成などのため、学内で使えるコピーポイント（年間1,500枚まで）を付与します。

リサーチ・アシスタント制度

大学院研究科の学術研究の充実、研究プロジェクトの効果的推進を図るとともに、研究補助業務を通して若手研究者の育成を図るため、リサーチ・アシスタント制度を設けています。

しょうがい学生支援

しょうがいのある学生に対し他の学生と同様に学べるよう学習支援を実施しています。

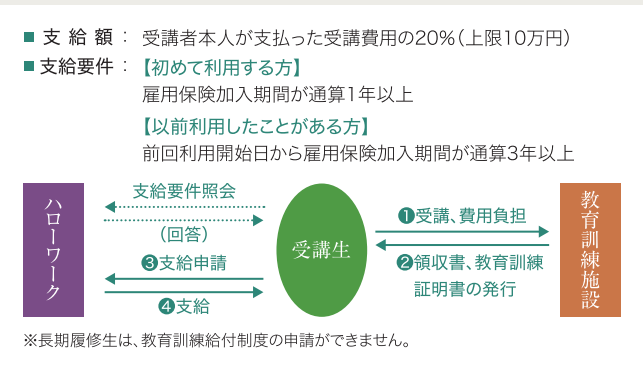
社会人学生への支援制度

●教育方法の特例

全研究科において、社会人のリカレント教育に対する社会的な要請に応えるため、大学院設置基準第14条に定められている教育方法の特例を導入して、社会人・有職者が受講しやすいよう平日夜間、土曜日、特定の時間・時期（集中講義等）に授業を開講するなどカリキュラム編成や研究指導面について組織的・体系的な整備を図っています。

●教育訓練給付制度

「教育訓練給付制度」は、働く方の能力開発、キャリアアップを支援するため、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し、一定の要件を満たした方に対して、受講費用の一部を給付する制度です。本学の修士課程・専門職学位課程は、厚生労働大臣から「一般教育訓練給付の対象講座」として指定を受けています。一定の条件を満たして修了した方は、教育訓練給付金（上限10万円）を受給できます。



奨学制度

奨学制度として最も有名なのが、日本学生支援機構の奨学金です。経済的理由により修学に困難がある優れた学生を対象に奨学金を貸与するもので、返還の義務があります。申請時には学力や所得に関する審査があります。

対象	種別	金額	資格・条件	募集期間
修士・専門職学位課程	貸与	第一種（無利子）月額5万円又は8.8万円 第二種（有利子）月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円	研究を継続するのに奨学金の貸与が必要な者	4月
博士後期課程	貸与	第一種（無利子）月額8万円又は12.2万円 第二種（有利子）月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円		

日本学生支援機構の奨学金以外にも、本学独自の奨学制度や、都道府県が実施しているもの、財団法人等が実施しているものなど、多くの奨学制度があります。また、学術団体等が実施する支援や懸賞論文もあります。これらの情報は、在学生に対して適宜提供されます。



納入金

修士課程

（単位：円）

種別 学年・期別		一般納入金				委託徴収金	合 計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
第1年次		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		312,000	30,000	342,000		342,000	
	2期		312,000	30,000	342,000	20,000	362,000	9月28日
	合計	100,000	624,000	60,000	784,000	20,000	804,000	

修士課程〈長期履修生用〉

（単位：円）

種別 学年・期別		一般納入金				委託徴収金	合 計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
第1年次		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		208,000	30,000	238,000		238,000	
	2期		208,000	30,000	238,000	20,000	258,000	9月28日
	合計	100,000	416,000	60,000	576,000	20,000	596,000	

博士後期課程

（単位：円）

種別 学年・期別		一般納入金				委託徴収金	合 計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
第1年次		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		312,000	30,000	342,000		342,000	
	2期		312,000	30,000	342,000	20,000	362,000	9月28日
	合計	100,000	624,000	60,000	784,000	20,000	804,000	

博士後期課程〈長期履修生用〉

（単位：円）

種別 学年・期別		一般納入金				委託徴収金	合 計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
第1年次		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		187,200	30,000	217,200		217,200	
	2期		187,200	30,000	217,200	20,000	237,200	9月28日
	合計	100,000	374,400	60,000	534,400	20,000	554,400	

※2025年度入学生の納入金額は変更となる場合があります。※入学金及び同窓会費については、本学学部卒業生・本学大学院修了者は免除します。
※納入期限日が休日あるいは土曜日の場合は、その翌日または翌々日とします。

施設概要

充実した教育・研究環境の中で、高度な研究を支えています。

熊本学園大学正門南側に位置する14号館(60周年記念会館)は、新しい時代の要求に対応できる機能を持つ複合施設です。大学院関連施設は、この14号館3階・5階・6階に配置され、静かで快適な環境のなか、院生の研究活動をサポートしています。



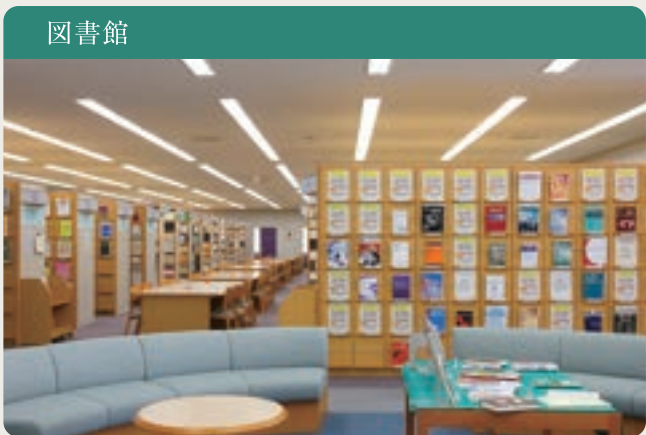
14号館6階には、院生の学修の場として自習室を備えています。机・書棚・ロッカー等を設置しており、個人ごとにスペースが区切られ、勉強に集中できる環境にも配慮しています。

利用時間 月～土 9:00～23:00／日・祝 9:00～21:00



14号館3階・6階には院生専用のパソコン室を設置しています。授業や論文作成のための資料収集に活用したり、インターネット検索・電子メールで情報交換も可能です。

利用時間 月～土 9:00～23:00／日・祝 9:00～21:00



地上4階地下2階の図書館はキャンパスのほぼ中央に位置し、学習図書館、研究図書館、保存図書館としての機能を持ち、開架図書20万冊、965席の閲覧室のある静かな環境の中、毎日多くの学生、卒業生や一般市民が訪れています。現在、蔵書約93万冊、学術雑誌約8,200タイトル、視聴覚資料約18,000点などを所蔵し、西日本有数の規模と内容を誇っています。開学以来、学部や学科、大学院の増設に合わせて専門資料や図書館機能の充実に努めてきました。これまで蓄積されてきた資料や情報の提供はもとより、最新の学術情報を迅速・的確に提供できるレファレンス体制も整えています。より多くの利用者にこれらの資料や機能を活用してもらうために、年間約320日開館しており、授業期間だけでなく長期休業期間も存分に利用することができます。

利用時間 【授業期間】月～土 8:50～22:00／日 9:00～17:00
【休業期間】月～土 8:50～21:00／日 9:00～17:00 ※1Fのみ

研究所・研究センター

産業経営研究所

「産業・経済およびこれに関連している諸事項の調査研究を行い、地域の産業経営の発展向上に寄与する」ことを目的に、1959年4月に設立。以来、地域経済、産業および企業経営に関する調査・研究ならびにその助成を行ってきました。また国、地方、企業の各種統計・資料、大学・研究機関の機関誌などの資料収集に努めています。調査研究の成果は、『調査研究報告』、所報『産業経営研究』等として発表。さらに最近は、産学連携事業にも注力し、地域経済の発展に寄与しています。

海外事情研究所

「中南米事情研究所」を前身として、1972年4月に開設し、専門の研究に取り組み、成果を所報『海外事情研究』や『研究叢書』で発表しています。また所員への海外調査研究の援助、稀少価値のある文献の収集を行い、研究活動の充実に努めています。海外交流については、中国の深圳大学、オーストリアのウィーン大学、韓国の全南大学校の各研究所と交流協定を締結。活発な学術交流を行っています。また地域貢献の一環として一般の方も参加できる国際シンポジウム・研究会等を開催しています。

社会福祉研究所

「社会福祉の科学研究とその発展」「地域社会への貢献」を目的に1966年5月に設立。刊行物として『社会福祉研究所報』、『社会福祉叢書』、『くまもとわたしたちの福祉』などがあります。また専門家を招き現代の社会福祉問題を取り上げる公開研究会の開催、2019年度からは社会福祉関連の経営者団体や社会福祉士会等の職能団体と連携について検討し、福祉関連施設等に従事する卒業生と連携をとりながら、新たに地域貢献事業に取り組むなど、地域交流にも努めています。

水俣学研究センター

水俣病事件の教訓を将来に生かすことを目的に、「学問領域の壁を越える」「オープンな研究体制の構築」「現地に学び現地に返す」「国際的視野での研究・調査」「系統的な人材の育成に寄与する」ために、2005年4月に設置。同年8月には、水俣学現地研究センターが水俣市に設置されました。調査研究・教育・地域貢献・国際交流などを有機的に関連付けた活動を展開しています。また、水俣学ブックレットや資料叢書の刊行、公開講座の実施、水俣病関連資料の収集・整理・データベース化を進め、ホームページで公開しています。

授与する学位

研究科・専攻	学位名称	
	修士課程	博士後期課程
商学・経済学研究科 商学・経済学専攻	修士(商学)、修士(経済学)	博士(商学)、博士(経済学)
国際文化研究科 国際文化専攻	修士(文学)	博士(文学)
社会福祉学研究科 社会福祉学専攻	修士(社会福祉学)	博士(社会福祉学)
社会福祉学研究科 福祉環境学専攻	修士(福祉環境学)	—

免許(専修免許状)[修士課程]

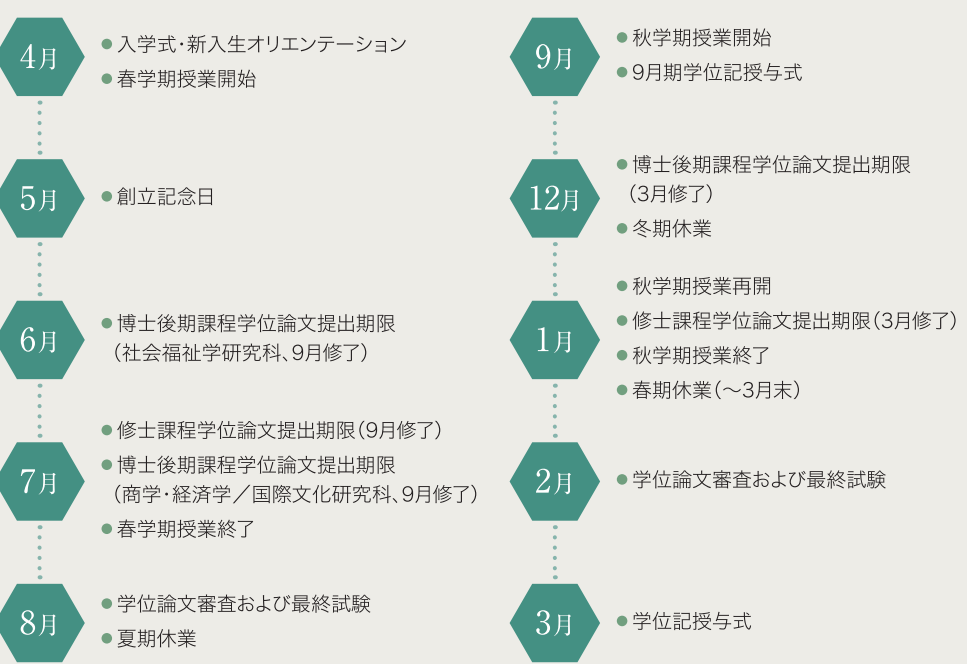
中学校教諭一種免許状または高等学校教諭一種免許状を有する方で、「大学が独自に設定する科目」から本学所定の単位を修得したうえ、修士の学位を得た場合、中学校教諭・高等学校教諭の専修免許状を取得することができます。

研究科・専攻	免許教科の種類
国際文化研究科 国際文化専攻	中学校教諭専修免許状(英語)(中国語)(韓国語)、高等学校教諭専修免許状(英語)(中国語)(韓国語)
社会福祉学研究科 社会福祉学専攻	高等学校教諭専修免許状(福祉)
社会福祉学研究科 福祉環境学専攻	中学校教諭専修免許状(社会)、高等学校教諭専修免許状(公民)

学生数・修了者数

研究科・専攻	課程	2024年度				2023年度			
		入学定員	入学者	収容定員	在籍者数	修了者数 (単位取得満期 退学者含む)	就職者数 (現職継続含む)	進学者数	学位取得者 累計
国際文化研究科 国際文化専攻	修士課程	5	4	10	8	4	4	0	73
	博士後期課程	3	0	9	2	0	0	0	9
社会福祉学研究科 社会福祉学専攻	修士課程	5	1	10	8	3	1	2	141
	博士後期課程	3	4	9	7	2	2	0	29
社会福祉学研究科 福祉環境学専攻	修士課程	5	0	10	3	0	0	0	28

キャンパスカレンダー



授業時間

授業については、月曜日から土曜日までの時間帯で行われています。自分のライフスタイルにあわせて時間割を編成することができます。

1時限	9:00 ～ 10:30
2時限	10:40 ～ 12:10
3時限	13:00 ～ 14:30
4時限	14:40 ～ 16:10
5時限	16:20 ～ 17:50
6時限	18:00 ～ 19:30
7時限	19:40 ～ 21:10

入試概要

本学大学院では、一般入学試験及び外国人留学生入学試験のほか、社会人を対象とした社会人入学試験、現職の中学・高校教員(大学卒業者)を対象とした社会人特別推薦入学試験、また本学学部からの推薦入学試験・飛び級入学試験等があります。

詳細につきましては入試募集要項及びホームページ(<https://www.kumagaku.ac.jp/daigakuin/>)をご覧ください。



■ 学生募集概要(2025年度)

【 修士課程 】

研究科・専攻	9月	11月	2月	入試種別	募集人員	専門科目	小論文	外国語(英語)	面接	書類審査
商学・経済学研究科 商学・経済学専攻	◎	◎	◎	一般入試	4名	●		●	●	●
	◎	◎	◎	外国人留学生入試		●			●	●
	◎	◎	◎	社会人入試			●		●	●
	◎		◎	飛び級入試		●		●	●	●
		◎	◎	推薦入試 本学商学部生 経済学部生対象					●	●
国際文化研究科 国際文化専攻	◎	◎	◎	一般・外国人留学生入試	5名	●		● ^{注1}	●	●
	◎	◎	◎	社会人入試		●			●	●
	◎	◎	◎	推薦入試 本学外国語学部生対象					●	●
	◎	◎	◎	社会人特別推薦入試					●	●
社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 社会福祉学研究科 福祉環境学専攻	◎	◎	◎	一般入試	各5名	●			●	●
	◎	◎	◎	外国人留学生入試		●			●	●
	◎	◎	◎	社会人入試		●			●	●
		◎	◎	推薦入試 本学社会福祉学部生対象					●	●

注1)国際文化研究科一般・外国人留学生入試の外国語受験においては、専修科目に応じて指定された外国語科目より1外国語を選択する。

	試験日	出願期間	合格発表	入学手続締切	試験会場
9月入試	2024年9月29日(日)	8月22日(木)～ 8月29日(木)	10月4日(金)10:00	第1回 10月18日(金) 第2回 2025年3月7日(金)	本 学
11月入試	2024年11月10日(日)	10月3日(木)～ 10月10日(木)	11月15日(金)10:00	第1回 11月29日(金) 第2回 2025年3月7日(金)	本 学
2月入試	2025年2月16日(日)	1月9日(木)～ 1月16日(木)	2月21日(金)10:00	2025年3月7日(金)	本 学

【 博士後期課程 】

研究科・専攻	募集人員	選考方法
商学・経済学研究科 商学・経済学専攻	2名	● 筆記試験(英語) ● 口述試験 ● 書類審査および論文審査
国際文化研究科 国際文化専攻	3名	● 筆記試験(外国語) ※専修科目に応じて指定された外国語科目より選択 ● 口述試験 ● 書類審査および論文審査
社会福祉学研究科 社会福祉学専攻	3名	● 筆記試験(専修科目に関する論述試験) ● 口述試験 ● 書類審査および論文審査

	試験日	出願期間	合格発表	入学手続締切	試験会場
9月入試	2024年9月29日(日)	8月22日(木)～ 8月29日(木)	10月4日(金)10:00	第1回 10月18日(金) 第2回 2025年3月7日(金)	本 学
2月入試	2025年2月16日(日)	1月9日(木)～ 1月16日(木)	2月21日(金)10:00	2025年3月7日(金)	本 学

■ 科目等履修生制度

大学院科目等履修生制度は、本大学院に開設されている、特定の授業科目について履修し、単位の認定を受ける制度です。大学を卒業した人であれば、どなたでも出願可能です。履修できる科目や出願の時期等については、大学院事務室にお問い合わせください。

■ 研究生制度

本学大学院修士課程、博士後期課程を修了、または博士後期課程を3年以上在学し退学した人が、研究を継続し、専任教員から指導を受けることのできる制度です。

入試個別相談開催のお知らせ

対面やオンラインで、大学の教員に研究活動や入試制度などについて相談してみましょう！ ※教員の指名も可能です。

日程 年間を通じて随時受付 時間 11:00～21:00

※土日祝除く ※参加には事前予約が必要です。詳しくは本学ホームページをご確認ください。

